

カ テ ゴ リ	非 該 当	チェック項目	取組 レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
18	□	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレン ジ				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19	□	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレン ジ	【予定】今後、ホームページなどで具体的な取り組みを報告していく予定												12.6					
20	□	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレン ジ	【予定】ホテルの運営を化石燃料に頼らないエネルギーに少し簡転換していく計画を策定中である							7.2						13				
21	□	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレン ジ	【予定】木材等のリユースを目標とした事業計画を策定中												12.2	13	14	15		
22	□	【汚職・贈収賄防止】 ・ 汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	汚職や贈賄を禁止し、社内規定に明記、行動規範を整備し、社内で徹底している。																16 16.5	
23	□	【公正な競争】 ・ 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	不正競争行為を禁止し、社内規定に明記、行動規範を整備し、徹底している。																16	
24	□	【知的財産保護】 ・ 知的財産の保護に取り組んでいる	基本	【予定】特許・知的財産等の取得・管理を進める								8.2 8.3	9								
25	□	【個人情報保護】 ・ 個人情報を適切に管理している	基本	個人情報保護の社内基本方針を制定し、社内研修による情報管理ルールへの徹底を図っている																16	
26	□	【紛争鉱物】 ・ 紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレン ジ																	16	
27	□	【サプライチェーン管理】 ・ サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレン ジ						5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	□	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	サービスの提供時のリスクを想定し、社内に周知をしながらお客様に安全に利用してもらうための方法を社内ミーティングなどで話し合い取り入れている			3.9									12.4					
29	□	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	アンケートなどによるお客様からの意見を取り入れ、より良いサービスの提供を心がけている。また社員からの意見を積極的に取り入れりため、他人気宿泊施設の視察などを積極的に推奨している。									9								
30	□	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレン ジ							6						12	13	14	15		
31	□	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレン ジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
32	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地域住民への説明会などの機会を設け、地域全体をより良くしていく具体的な取り組みを話し合い、出来ることから積極的に取り入れていくようにしている				4					9		11	12		14	15		17
33	□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】災害復興のきっかけとなるチャリティイベントなどを計画している				4							11			14	15		17
34	□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地産地産、地産外商）している	チャレンジ	地元産の食材の利用、木材の施設への利用など								8	9		11	12	13				
35	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営者が経営理念と目標を持ち、社内ミーティングなどで社員と共有している								8	9								17
36	□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	法令遵守や社内コンプライアンスの徹底を社員ミーティングなどで常に伝えている																	16
37	□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	責任者を任命し、徹底している																	16
38	□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	ステークホルダーとは常に対話・意見交換をしながらビジョンや方向性を理解してもらい、現状の把握をしてもらうよう心がけている																	16 17
39	□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	あらゆるリスクの想定を社員と意見交換しながら洗い出し、その対応策を考え、決定・行動するようにしている																	16
40	□	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	ホテル運営が環境に及ぼす影響を極力少なく出来るよう、専門家に意見を聞きながら対応をしている。																	16
41	□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	定期的な乗客救助訓練の実施を行っている。また避難訓練等の実施による避難導線の確認を行っている。									9		11		13 13.1			16	
42	□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ									8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
災害時の地域住民に対する取り組み	【予定】山ノ内町と災害時における避難施設等に関する支援協定を締結し、住民及びお客様の安全の確保を提供する。																	
森の資源の有効活用																		

<p>【記載留意事項】</p> <p>・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）</p> <p>・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。</p> <p>・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。</p> <p>また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。</p> <p>（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）</p>
